

8月市長定例記者発表要旨

と き 平成27年8月3日（月） 11時～12時

ところ 庁議室

1. 市制施行10周年記念事業「ドリーム・サッカー ～日本代表OBがやって来る！～ in さいき」の開催について

11月14日（土）、15日（日）の2日間、市制施行10周年記念事業として、「宝くじスポーツフェア ドリーム・サッカー～日本代表OBがやって来る！～ in さいき」を開催します。

本事業は、宝くじの社会貢献広報事業として行われているもので、サッカー元日本代表選手などが参加し、サッカー教室や地元チームとの親善試合などを通じて、青少年の健全育成や地域社会の発展に寄与することを目的としています。

初日の14日には、総合運動公園多目的広場で指導者クリニックが行われ、翌15日には、陸上競技場で少年少女サッカー教室や元日本代表選手のドリームチームと佐伯市選抜チームとの試合などが行われます。

参加する元代表選手の顔ぶれなどは10月上旬に決定することですので、決定次第お知らせいたします。

2. 「おおいた子育てほっとクーポン」事業の実施について

本年度、国の地方創生交付金を利用した大分県の事業として「おおいた子育てほっとクーポン事業」を実施することになりました。

この事業は、子育て世帯の精神的・身体的・経済的負担の軽減を図るため、子育て支援サービスを利用できる額面1万円のクーポンを配布するもので、8月から申請を受け付けます。

クーポンは2種類で、平成21年4月2日から平成27年3月31日までに生まれた子どもの保護者に配布する「ほっとクーポン・プラス+」と、平成27年4月1日以降に生まれた子どもの保護者に配布する「ほっとクーポン」があります。

クーポンは、保育所の一時的預かり、病児・病後児保育、インフルエンザ予防接種料、歯のフッ化物塗布^{とふ}など、様々なサービスに使うことができます。また本市独自の使用方法として、発達に遅れが見られる子どもの通所支援事業の個人負担分にも使用できます。

クーポンの利用開始は10月1日からで、本市での対象児童は約3,500人です。

3. 個人番号カード(マイナンバーカード)を利用した住民票・印鑑証明書のコンビニ交付について

社会保障・税番号制度の開始に伴い、平成28年1月から申請者に対して「個人番号カード」の交付が始まります。この個人番号カードの普及と市民の利便性の向上を図るため、本市では、

個人番号カードを利用し、コンビニエンスストアにおいて「住民票の写し」と「印鑑登録証明書」の交付を開始することになりました。

交付開始予定日は平成 28 年 3 月 1 日を予定しており、現在、地方公共団体情報システム機構への申請及びシステム確認試験等について準備を進めているところです。

本市はセブンイレブン、ローソン、ファミリーマートと提携いたしますが、これにより、全国約 4 万 5,000 の店舗で証明書の交付を受けることができ、また、夜間、休日にも利用していただけるようになります。

なお、現在、全国で約 100 の自治体が住民基本台帳カードを利用したコンビニ交付を実施していますが、大分県内では本市が初めてとなります。

4. 第 3 回嘉風相撲大会の開催について

8 月 30 日（日）9 時から、総合運動公園相撲場で、「第 3 回^{よしかぜ}嘉風相撲大会」が行われます。

この大会は、本市出身の幕内力士・嘉風関の「大会の開催を通して相撲の底辺を拡大したい」という強い思いを受けて平成 25 年に始まったもので、出身地・佐伯市と、母校・中津工業高校（現・中津東高校）がある中津市で交互に開かれています。今年、本市の「活性化チャレンジ事業」に採択され、佐伯市嘉風後援会及び佐伯市相撲連盟が中心になって開催することになりました。

当日は、県内外の中学生以下の力士たちが熱戦を繰り広げるほか、嘉風関が自ら胸を出し、子どもたちに稽古をつける予定です。さらに表彰式では、関取から直接表彰状を手渡します。

また、今回から、「佐伯市出身力士を育成したい」という嘉風関の思いを受け、「嘉風チャレンジ」と銘打ち、嘉風関が市内の小中学校や相撲クラブを訪問し、子どもたちと直接ふれあうことを通して相撲の魅力を感じてもらおうという企画も行っています。

なお、大会の成績上位者は、来年の 1 月下旬か 2 月上旬に両国国技館で開かれる「白鵬杯少年相撲大会」に「嘉風選抜チーム」として出場することになっています。

※大相撲佐伯場所開催について

12 月 1 日（火）に総合運動公園で開催予定。チケット販売など詳細が決まり次第、お知らせします。お問い合わせは、佐伯市嘉風後援会（佐伯中央病院内）電話 22-8846、西村さんへ。